

呼吸器内科後期研修カリキュラム

	1年目	2年目	3年目
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 呼吸器疾患の知識・理解を深める。 指導医の下で診療ができ、かつ検査技術を習得する。 関連学会に加入し、かつ研究テーマを探す。症例発表をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 呼吸器疾患の知識・理解を更に深める。 独自で診療ができ、かつ検査することが出来る。 研究をスタートする。症例発表をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 呼吸器疾患の診療経験を更に増やす。 初期研修医を指導することができる。 研究成果を発表する。
個別目標			
【検査】			
胸腔穿刺/胸膜生検	指導下で行う	独自で行う	指導できる
胸腔トロッカー挿入	指導下で行い、かつ管理できる	独自で行い、かつ管理できる	指導できる
気管支鏡	主としてサブとして行い、時にハウプトとして指導下で行える	独自で生検、洗浄、止血処置ができる	指導できる
呼吸機能検査	指導下で行い、評価できる	独自で行い、評価する	手技・評価を指導できる
【呼吸管理】			
方法選択	指導下で学習する	独自で選択できる	独自で選択し、かつ指導できる
挿管下人工換気管理・非侵襲的陽圧換気法	指導下で行える	独自で行える	独自で選択し、かつ指導できる
在宅酸素療法/人工呼吸	指導下で導入法を学ぶ	独自で行える	独自で導入して管理し、かつ指導できる。
【画像診断】	理解・知識を深める	診断を主体的にできる	診断を指導できる
【薬物療法/治療】	指導医の下で最適の治療法を学び、管理する	独自で最適の治療法を選択でき、かつ管理できる	最適の治療法を指導できる

「研修が必須の疾患」

腫瘍	肺癌
感染症	肺炎、胸膜炎、結核、非結核性抗酸菌症、 インフルエンザ
アレルギー免疫疾患	気管支喘息、 好酸球性肺炎、過敏性肺炎、 びまん性間質性肺炎、サルコイドーシス
喫煙関連疾患	肺気腫、慢性気管支炎
血管系疾患	肺血栓塞栓症
呼吸リズム障害	睡眠時無呼吸症候群
胸膜疾患	自然気胸、胸水

【指導体制】

4人の部医長がマンツーマンでチームを組み、指導に当たる。

【週間スケジュール】

月曜日	内科・外科・放射線科・病理の合同カンファランス(第3月曜日のみ) 気管支鏡カンファランス
火曜日	気管支鏡検査 クリニカルカンファランス
水曜日	
木曜日	回診 抄読会
金曜日	